

がんゲノム診療科

1. 診療科としての特色

- がんゲノム医療とは、遺伝子変異などの情報を元に、患者の治療を個別化し、最も適した治療を患者に提供する医療である。日本でもがんゲノム医療中核拠点病院が2018年2月に定められ、2019年6月からは保険診療でがんゲノム解析が行われるなど、社会実装が実現されつつあります。
- 当院は2019年9月にがんゲノム医療拠点病院に認定され、関東地区にある四つの連携病院の中核として当科を中心にがんゲノム医療を展開しています。
- がんゲノム検査だけでなく頭頸部癌、消化器癌、原発不明癌などの薬物療法を積極的に行っており、臓器横断的な腫瘍内科学の習得が可能です。

2. 研修目標

- がんゲノム解析を受ける患者を診察し、適応を考え、適切な検査を選択し、検査結果の解釈、エキスパートパネルでの討論、患者への結果返却、必要であれば臨床遺伝科・認定遺伝カウンセラーへの紹介、治療薬の選択、治療が行える枠組みを見つけ、治療の遂行、治療結果のデータベースへの入力などを行う。
- 殺細胞性抗癌剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の適応を判断し、副作用対策を実践できる。
- 臨床研究にも携わり、学会発表、論文作成を行う。